Ｐ12・13　おおさき情報館

市民農園利用者募集

問　農林振興課農業経営係　23-7090

市民農園を利用して、自分で野菜を作ってみませんか。

■チェリーファーム（古川地域）

場所　古川桜ノ目地内

貸出期間　4 月～ 12 月

貸出区画　10 区画（1 区画約30㎡）

利用料　１区画5,000 円

対象　市民

募集期間　随時

申込　チェリーファーム管理組合　西村　 28-3338

■上古川ふれあい農園（古川地域）

場所　古川上古川地内

貸出期間　4 月～ 3月

貸出区画　15 区画（1 区画約30㎡）

利用料　１区画5,000 円

対象　市民

募集期間　随時

申込　上古川ふれあい農園管理組合　大場　 22-3547

■真山ふるさと交流農園（岩出山地域）

　栽培講習会や利用者交流会も開催します。

場所　岩出山上真山下外道13-2（真山地区公民館隣接）

貸出期間　4 月～ 12 月

貸出区画　45 区画（1 区画約50㎡）

※1人2区画までの利用が可能です。

利用料　1 区画5,000円

付帯設備　給水設備、貸出用農機具（一部有料）、トイレ、区画ごとの駐車場など

対象　市内外問わず日常管理のできる人

募集期間　3 月14日まで

※締め切り後も、空き区画がある場合は、随時受け付けます。

申込　真山地区公民館　 77-2567

話し合うおおさき公共交通シンポジウム2016

問　まちづくり推進課地域自治・NPO担当

　　電話23-5069　ファクス23-2427　Eメール：machi@city.osaki.miyagi.jp

現在、策定を進めている地域公共交通網形成計画（案）の概要を説明します。「暮らしの足」である公共交通をみんなで考えませんか。

日時　3月27日　13時30分～16時30分

場所　芙蓉閣（古川駅前大通6-2-8）

内容

開始時間　内容

13時40分　地域公共交通網形成計画（案）説明

14時　講演

15時10分　パネルディスカッション

対象　公共交通に関心のある人

定員　先着100人

参加費　無料

申込　3月25日まで、申込書に必要事項を記入し、まちづくり推進課にファクス、Eメールで申し込み

※申込書は市ウェブサイトに掲載します。

パネルディスカッション

座長や登壇者、参加者が意見を交わす討論会です。座長は、東北運輸局認定の「地域公共交通東北仕事人」の２人が務めます。

■グループ１

座長　徳永 幸之 氏

宮城大学教授、事業構想学部長兼事業構想学研究科科長、大崎市地域公共交通活性化協議会会長、工学博士

■グループ2

座長　鈴木 文彦 氏

交通ジャーナリスト、NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長

鹿島台第二小学校閉校記念式典

問　教育委員会教育総務課　72-5032

鹿島台第二小学校は、4月から鹿島台小学校へ統合します。

閉校記念式典を行いますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

日時　3月21日　9時30分～12時

場所　鹿島台第二小学校　体育館

※できる限り徒歩や自家用車乗り合わせて、来場してください。

内容

■第１部　閉校式

■第２部　閉校記念式典

　～歴史と伝統を尊ぶ集い～

　　校史の披露、児童による演技、卒業生によるスピーチなど

■第３部　閉校記念レリーフ除幕式

初めての古文書講座「公開講演会」

問　岩出山公民館（スコーレハウス）　72-0357

出羽国天童城の城主で、のちに伊達政宗に仕えた天童氏の家臣の様子から、仙台藩の武士の暮らしを学んでみませんか。

日時　3月12日　13時30分～15時30分

場所　岩出山公民館（スコーレハウス）

定員　先着100人

※申し込みは不要です。

演題　仙台藩陪臣の暮らし

　　　～天童家の在所家臣を事例として～

講師　宮城学院女子大学国際文化学科　教授　Ｊ.Ｆ.モリス 氏

まちの話題

有備館の再開を前に防火意識を高める

文化財防火デーの1月26日、旧有備館及び庭園で防火訓練が行われました。

　有備館のスタッフや早期復旧を願う会の皆さんが、主屋から出火した想定で、通報、初期消火、避難誘導などを、本番さながら、迅速に正確に行いました。

　３月で、すべての災害復旧工事が完了し、4月の再開に向けて、スタッフ、地域関係者が一丸となって、再び多く来館者を迎え入れる準備が進められています。

【写真キャプション】

　大切な文化財を火の手から守るため、どの役割の人も真剣そのものでした

社会のお金の流れを学び自分の将来を考える

1月26日、志田小学校で6年生を対象に「キャリア教育とお金に関する講座」が開催され、講師となった東北財務局の職員から、社会のお金の流れや働く意味などの話を聞きました。

　児童たちは、生活する上で必要不可欠なお金やさまざまな職業について学び、自分の夢を元気よく発表するなど、将来を考える良いきっかけとなったようでした。

【写真キャプション】

働く意味や将来の夢について、講師と一緒に考えていました

雪を透かしてやわらかな明りが漏れ光る

2月7日・8日の２日間、鳴子温泉地域の中山コミュニティセンター特設会場で、スノーランタンフェスタin中山平2015が開催されました。

　蜜バチの巣から採取する希少な蜜ロウでつくったオリジナルキャンドルを、雪でつくったランタン（灯篭）に入れて火を灯すと、雪を透かして、やわらかでやさしい明りが漏れ光り、雪原に幻想的な光景をつくりだしました。

【写真キャプション】

　親子で作ったかわいい雪の塔。見事、コンテスト入賞を果たしました

本格的な手作りハム・ソーセージの作り方を学ぶ

2月13日・14日、大貫地区公民館でハム・ソーセージ作り教室が開催され、1日目はハム5種類、2日目はソーセージ3種類の作り方を学びました。

　2日目には、公民館に常設してある燻煙箱で一晩燻煙されたハムやベーコンなどを試食。参加者の皆さんは、「いい色になったね」「塩加減がちょうどいいね」などと、自分たちで手作りした本物の味を楽しんでいました。

【写真キャプション】

　腸詰めは、出し手と受け手が息を合わせて慎重に作業を進めます